

研究成果発表

ポスター発表

- P-1 「ストリートチルドレン芸術祭」の支援活動
～国際貢献の実践～**
○石山 芽永(東北福祉大学)、生田目 学文
- P-2 学生主体による
東日本大震災復興支援活動の実践研究
～3.11復光キャンドルナイトの取り組みを中心として～**
○勝間田 悠里(浜松大学)、木村 佐枝子
- P-3 写真修復ボランティア
「あなたの思い出まもり隊プロジェクト」
運営体制について**
○和久 里洋(工学院大学)、村上 正浩
- P-4 大学と地域連携による
振り込め詐欺防止DVDの制作の取り組み**
○木村 佐枝子(常葉大学)、小島 康史
- P-5 大学間連携による
災害時支援体制の構築について
3大学連携によるワークショップの実施**
○渡辺 信也(東北福祉大学)、久田 嘉章
- P-6 女性の視点をいかした避難所運営のあり方**
○浅野 菜邦(工学院大学)、村上 正浩
- P-7 保育園のBCPに関する研究
～調布市におけるケーススタディー**
○廉野 佑樹(工学院大学)、村上 正浩
- P-8 民間企業のBCPの取り組みに関する調査・研究
～業種別にみた東日本大震災以前以後の課題の
抽出～**
○内山 達巳(工学院大学)、宮村 正光
- P-9 災害時におけるトイレ利用に関する
課題と対策に関する研究**
○安藤 健太郎(工学院大学)、宮村 正光
- P-10 液状化による公共施設の被害調査
～東北地方太平洋沖地震における浦安市内の教
育施設の事例分析～**
○佐藤 洋子(工学院大学)、宮村 正光
安達 俊夫、太田 宏、通山 開
- P-11 震災時における
医療施設の機能障壁に関する研究
～血液透析に対する震災事例の調査・分析～**
○松山 美樹(工学院大学)、宮村 正光
- P-12 超高層建築の地震時における
揺れの簡易評価について**
○大宮 憲司(工学院大学)、久田 嘉章
久保 智弘

- P-13 超高層建築における
地震後の建物被害確認と情報集約について**
○飯塚 章仁(工学院大学)、鱒沢 曜、久田
嘉章、宮村 正光、諏訪 仁
- P-14 首都圏で想定される地震に対する
超高層建築物の制振補強**
○荒川 洋輔(工学院大学)、久田 嘉章
久保 智弘
- P-15 振動台を用いた天井板落下実験による
オフィスビルの天井対策**
○小泉 秀斗(工学院大学)、久田 嘉章
- P-16 モバイル空間統計を活用した
新たな防災計画分野への適用可能性の検証**
○牧野 夏葉(工学院大学)、村上 正浩

市民報告・口頭発表

■市民報告 司会：斎藤 實(社会貢献学会副会長)

■口頭発表

■OS-1 司会：東村 篤(四日市大学)

- 1 「逃げる対策」から「逃げない対策」へ
～巨大都市の大災害における自助・共助～
○久田 嘉章(工学院大学)、村上 正浩
- 2 大学が地域社会に対してできること
○村上 正浩(工学院大学)、久田 嘉章
- 3 災害時を含めたペット共棲住環境の品質評価
その2 住環境改善システムの適用による音響特性
○浅見 樹里(工学院大学)、田村 雅紀
金巻 とも子、鹿野 正顕、長谷川 成志
- 4 知と信の乖離を超克することを目指した防災実践
○近藤 誠司(NHK大阪放送局)
矢守 克也、宮本 匠

■OS-2 司会：田村 雅紀(工学院大学)

- 5 災害時の弱点を知り、減災のために必要なこと
○半田 亜季子(社会貢献学会理事)
高橋 英彦
- 6 進化する公私協力方式の特色を生かした
社会貢献への取り組み
～ゼミ生で設立した模擬会社夢追プロモーション
が地域密着で自立化～
○中川 昌大(四日市大学)、東村 篤
- 7 宮城県石巻市雄勝町における震災復興支援活動
○高崎 百加(神戸学院大学)



社会貢献学会 第4回大会

未来につなぐ社会貢献

— 小さな芽吹きを大きな力に —

日時：2013年11月16日（土曜日）10時～17時30分

会場：工学院大学新宿校舎 高層棟3階 アーバンテックホール
〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2

プログラム

《会費》

- 参加費
- | | |
|--------|------------------------------|
| 《午前の部》 | 無料（一般、学生も参加可能、プログラムを全員に配布） |
| 《午後の部》 | 市民会員 1,000円（大会梗概集を2,000円で配布） |
| | 正会員 3,000円（大会梗概集を配布） |
- 懇親会費 3,000円 *大会梗概集は希望者に3,000円で販売。

《会場》 高層棟3階 アーバンテックホール

《午前の部》 基調講演、学会賞表彰式、パネルディスカッション

- 09:00～ 受付開始
- 10:00～10:10 主催者挨拶
渡辺信英 社会貢献学会会長、水野明哲 工学院大学学長
- 10:10～10:30 社会貢献学会賞表彰式
最優秀賞、優秀賞、奨励賞
- 10:30～11:10 基調講演 「災害復興とそのミッション」
片山善博氏（慶應義塾大学教授、元鳥取県知事・総務大臣）
- 11:15～12:15 パネルディスカッション
パネリスト：片山善博氏
久田嘉章氏（工学院大学教授）
学会賞受賞者

《午後の部》 学会総会、研究発表

- 13:15～13:45 社会貢献学会総会
- 13:45～14:45 ポスター発表（16題）（会場：アーバンテックホール前ホワイエ）
- 14:50～17:30 市民報告、口頭発表（7題）、意見交流

《懇親会》

- 17:40～ 懇親会（会場：中層棟7階 食堂）

社会貢献学会賞受賞者一覧

1 最優秀賞(1名)

鈴木 一男 (神奈川県横浜市)

- 活動名：企業経営者の個人的ネットワークを活かしたボランティア活動支援
- 活動の概要：阪神淡路大震災後、企業・行政・市民が協働で行う被災者支援活動に積極的に実施、地域への呼びかけも行い参加者も拡大。平時は、地域の清掃活動にも取り組むなど、経営者としての活動は他の模範となる。

2 優秀賞(4団体／順不同)

(1) 区民組織「心のあかりを灯す会」(東京都練馬区)

- 活動名：災害に負けないで頑張ろう！灯そう心の灯り
- 活動の概要：練馬区の区民防災組織であるPTA活動や避難拠点で活動しているお母さんたちを中心に、『災害に負けないで頑張ろう！灯そう心の灯り』を合い言葉に、防災教育の支援を実施

(2) 東北生活文化大学高等学校 (宮城県仙台市)

- 活動名：地域社会に貢献する学校作り
- 活動の概要：学校をあげての地域支援活動を実施、文化祭の収益等をボランティア基金として積み立て、車いすの寄贈等を実施。また、「自転車利用マナーアップモデル校」の指定を受ける。

(3) 福住町町内会 (宮城県仙台市)

- 活動名：魁より始めよ 一できるだけ行政に頼らない地域力一
- 活動の概要：町会主体の自主防災組織で、自治体に頼らない「福住町方式」でマニュアルの作成や訓練を実施、東日本大震災時には安否確認、物資の供給等を実施。また、他の地区に拡げるために講演活動等も多数

(4) 神戸学院大学ボランティアVAF (バフ) (兵庫県神戸市)

- 活動名：神戸学院大学ボランティア 活動基金 (VAF)
- 活動の概要：学生のボランティア活動として、カンボジア現地の言葉で絵本を自主制作、現地で移動図書館活動を行うなど、国際的な支援活動を10年以上にわたり実施。

3 奨励賞(24団体・個人／順不同)

- ① 八王子市中野町甲和会 (東京都八王子市)
- ② 向上高校DTPA (Desk Top Publishing Assistants) (神奈川県伊勢原市)
- ③ わしん倶楽部 (宮城県仙台市)
- ④ 村山 恭太 (東京都新宿区)
- ⑤ 常葉大学ボランティアサークル Thunder Birds (静岡県浜松市)
- ⑥ 特定非営利活動法人 原爆先生 (東京都武蔵野市)
- ⑦ 特定非営利活動法人 地域ネットワークとらいあんぐる (東京都文京区)
- ⑧ 佐藤 千可生 (神奈川県横浜市)
- ⑨ 脇 眞澄 (神奈川県横浜市)
- ⑩ いい顔・笑顔 人形劇の会 (東京都渋谷区)
- ⑪ 特定非営利活動法人 Inclusive Fellowship Promotion (東京都板橋区)
- ⑫ 特定非営利活動法人 大空の会 (東京都東大和市)
- ⑬ 復興ボランティア タスクフォース (神奈川県川崎市)
- ⑭ 特定非営利活動法人 地球市民交流会 (神奈川県横浜市)
- ⑮ 江戸川共育プラザ 日本防災士会江戸川区支部 (東京都江戸川区)
- ⑯ 生きるちから 貢献女子会 (神奈川県横浜市)
- ⑰ 東北福祉大学 社会教育研究会 こっぺばん (宮城県仙台市)
- ⑱ 東北福祉大学 BEAUTY'S (宮城県仙台市)
- ⑲ 青葉区BBS会 (宮城県仙台市)
- ⑳ 東北福祉大学ボランティアサークル 天使村 (宮城県仙台市)
- ㉑ ストリートチルドレン芸術祭 (宮城県仙台市)
- ㉒ 聖ドミニコ学院中学校高等学校ボランティア部 (宮城県仙台市)
- ㉓ 島田 豊実 (兵庫県西宮市)
- ㉔ オーエスエス (兵庫県神戸市)

基調講演

『災害復興とそのミッション』

プロフィール



片山 善博

(かたやま よしひろ)

慶応義塾大学法学部教授

1951年岡山市生まれ。74年東京大学法学部卒業、自治省に入省。能代税務署長、自治大臣秘書官、自治省国際交流企画官、鳥取県総務部長、自治省固定資産税課長などを経て、99年鳥取県知事（2期）。07年4月慶応義塾大学教授。10年9月から11年9月まで総務大臣。同月慶応義塾大学に復職し現在に至る。併せて、鳥取大学客員教授、「民事司法を利用しやすくする懇談会」議長、「デジタル文化財創出機構」理事、日本郵便「切手アドバイザー・グループ」委員などを務める。

主要著書に、「日本を診る」（岩波書店、2010年）、「『自治』をつくる」（共著）（藤原書店、2009年）、「市民社会と地方自治」（慶応大学出版会、2007年）、「災害復興とそのミッションー復興と憲法」（共著）（クリエイツかもがわ、2007年）などがある。

テレビ出演は、「みのもんたの朝ズバッ！」（TBS）、「新報道2001」（フジテレビ）、「報道ステーション」（テレビ朝日）、「時事放談」（TBS）など。

講演概要、レジメ

○ミッションとは何か

○災害によって異なる被災地の様子

○東日本大震災の復興を診る

○平素の準備と心構え

《参考文献》

片山善博・津久井進『災害復興とそのミッションー復興と憲法』クリエイツかもがわ（2007年）
山下哲夫「政府の被災者生活支援チームの活動経過と組織運営の経験」『季刊 行政研究』第136号（2011年12月）